

令和6年度 第1回小糸・清和地区公民館運営審議会 会議録

- 1 会議名称 令和6年度第1回小糸・清和地区公民館運営審議会
- 2 開催日時 令和6年5月14日(火)
15時から16時35分
- 3 開催会場 小糸公民館 講義室
- 4 出席委員 【小糸地区】藤村委員長、小川委員、白井委員、
【清和地区】佐藤副委員長、奥村委員、伊藤委員、佐藤委員
事務局 【小糸公民館】大野館長、伊藤副館長、寺本公民館主事
【清和公民館】成川館長、安部副館長、唐鎌公民館主事、濱田主任主事、
小間社会教育指導員
- 5 欠席者 【小糸地区】末安委員
- 6 傍聴人 なし
- 7 会議概要 下記のとおり
 1. 開会(進行 伊藤副館長)
 2. あいさつ (藤村委員長)
 3. 委員自己紹介
 4. 職員紹介
 5. 議事
 - (1) 令和6年度公民館事業及び予算について
【藤村委員長】
議事に移らせていただきます。令和6年度公民館事業及び予算について説明をお願いします。
 - 【小糸公民館】
・資料1頁から5頁に沿って、大野館長、寺本公民館主事より基本方針、令和5年度の成果と課題、令和6年度の重点目標、事業計画及び予算概要について説明。

【清和公民館】

・資料 6 頁から 10 頁に沿って、安部副館長、小間社会教育主事、唐鎌公民館主事、濱田主任主事より基本方針、令和 5 年度の成果と課題、令和 6 年度の重点目標について説明。

【藤村委員長】

ありがとうございました。今、両公民館から基本方針、課題、成果、重点目標、事業計画、予算について提案がありました。後ほど各委員さんからご意見等をいただきますが、その前にご質問があれば伺います。では、今回は白井委員から感想でもご意見でも結構です。よろしくお願いいたします。

【白井委員】

小糸公民館の事業の 4 ページ「こいとまち歩き」が新しい講座のようですが、婦人会でも小糸でまち歩きをやってみたところ、歩いてみないとわからないことがたくさんあって、地域の人ともふれあうことができよかったという意見でした。今後、このような講座を実施してもらえらるならぜひ参加してみたいと思います。

清和公民館の事業 7 ページ「清和の魅力探訪ウォーク」は、前回冊子をいただきましたが、見やすくとても良いですね。主人も次はどこを歩こうかと楽しく活用させてもらっています。

また、他の地域との交流ということで、昨年度、清和の方で小糸と合同でパン作り講座をしたところ、今年からサークルとなり、今、君津・小糸・小櫃・上総と全圏域から参加者が集まっています。地域にこだわらず活動ができるのは素敵なことだと思います。小糸も地域に限らず活動できるといいなあと思います。

【小川委員】

課題の中に、高齢者の事業と子育てのことがあって、それを踏まえながら計画を立てられていて、重点取り組みにあった「子育て支援関連事業の充実化」では、小糸親子教室やプレイルーム、家庭教育学級の事業の申し込みが定員いっぱい聞いて、人集めに苦労する昨今、子育て世代の親の関心が高く、参加したい内容の企画でさすがだなと思っていました。

それから 13 番の「高齢者学級」は毎回楽しみにしているのですが、今年は担当の副館長が保健師さんということもあって、小糸地区の健康の実情をよく把握されていて、小糸地区は糖尿病が多いので、それを何とかするために高齢者学級で取り組みたいという話を聞いて、ただ教室をするのではなくそういう意気込みをもって「高齢者学級」をしようとする姿勢に感動し、いろんな人にお誘いしています。

「20 歳のつどい」は、この公民館ができて第 1 回目の成人式が私達でした。その

日は雨が降って雪が降っての天気着物もすごくて、母親にどこに行っていたのと言われたのを思い出します。それが50何年も経つと清和と一緒になるなんて誰が思っていたのでしょうか。これも時代の流れなのですね。

先ほど白井委員からも出ましたが、「こいとまち歩き」これはとてもいいですね。私も毎朝散歩していますが、いろんな方が散歩をされています。私は友達とおしゃべりしながら歩いています、皆さん黙々と歩いています。ただ歩くのなら歩きながら何か知れたらいいのになぁと思います。「小糸散歩物語」というのが平成24年にできているのですが、誰も知らない。せっかく作ったのに、社会福祉協議会の話し合いでこれを話しても皆知らないと言います。読んでみると小糸のことがたくさん書いてあって、これはみんなに知らしめなくてはいけない事だと思いました。ただ10年も前に作られているので内容も変わっています。

去年の文化祭でとあるサークルが「こんな小糸になったらいいな」と話し合いをしていました。子どもたちは「プールがあったらいいな」とか言っていました。その中である高齢者が「になったらいいな」の前に小糸を知っている人がいない」と話されていたので「こいとまち歩き」をきっかけに小糸を知ってもらうことは大切だなと思いました。

また、小糸公民館だよりもプレイルーム利用者の声も載っていて、これはとてもいい事だと思いました。事業の募集の周知ばかりでなく参加者の声を載せることで読む側の共感を呼ぶのでいいと思います。

清和のほうですけども、最初「おらがわ」がわからなかったですが、よくわかるようになりました。なにかにつけて「おらがわ」と聞くようになりました。先日は、新聞の「^{きみ}黄身^つ2ー」と「朝飯づくり」の記事に市長のおいしいという感想が載っていて、清和はすごいなぁと思いました。その朝飯を作るサポーターに高齢者が生き生き参加していたと聞いて、こういう一つの行事に地域の人が集まってくるのがすごいなぁと感じました。

【佐藤（利）委員】

小糸の新しい事業「こいとまち歩き」は、特に私のように清和の生れでない人間は、参加していろいろわかると新しい発見があると思うので、的を射た事業だと思います。

清和の方ですが、これも委員から出ていましたが、「清和の魅力探訪ウォーク」は、今年は高宕山と聞いていますが、昭和の頃はとても人気があって、日東交通が上の方まで通っていたのでその頃の休日はすごい人だったのを覚えています。今はどうなのでしょう？ちょうど半月くらい前にNHKのテレビで取り上げていて、県立中央博物館の方が説明していて、その前は富山がでていた。そういう山の説明

があるといいと思います。

【奥村委員】

プレイルームのことやまち歩きのことなど、小川委員の発言と同じような意見を考
えていました。小糸でまち歩きが始まるのはすごくいいと思いました。

質問で、清和公民館の9ページの「サイクリスト立寄り拠点強化事業」とあります
よね、最近、市宿辺りでトレーニングしながらサイクリングをしているグループを
よく見ますが、どんな人が利用するためのものか教えてほしいです。

もう一点は、予算で「公民館管理運営事業」の清和と小糸で差がありますが、これ
は何が違うのか気になりました。

【藤村委員長】

事務局説明をお願いします。

【清和事務局】

サイクリスト立寄り拠点ですが、以前から鹿野山は起伏がありサイクリストには人
気のコースとなっております。そこで「おらがわ」発鴨川着など起点終点としてサ
イクリストに休憩や自転車整備に使ってもらえる場として提供したり、サイクリス
トのイベントの開催にも使っています。また、この場所を通じてサイクリスト達と
地域の方の交流の場としても立ち寄り拠点として使っていただいています。

予算の方は、基本的には、そんなに変わらないと思うのですが、デジタル工作機器
の借用の関係で少し予算が多くなっています。

【奥村委員】

わかりました

【伊藤委員】

小糸は子ども向け事業の募集がいっぱいになっているということで、そこが清和と
違う一番の特徴と感じます。それぞれ特色のある事業をすることが公民館としてふ
さわしいと思います。新規事業をみていると過去の公民館スタイル、部屋の中を使
って行う事業から、外へ出ていくスタイルや体験的な事業が求められています。こ
ういう事業をどんどん行う事で地域を知る事にも繋がるし、清和の場合は地区以外
の人にも清和を知ってもらえるメリットがあります。高齢者の場合は歩いて健康に
も繋がるし、このように外に出て地域のことを知ったり健康にもよくいい事業だと
思います。そして、関連機関との連携とありますが、連携が一番重要だと思ってい
ます。連携により幅が広がる学習ができます。人が少ないから連携ではなく、事業
を幅広い活動につなげるために、より深めるための連携となっています。今後も、
さらなる地域の組織や人・団体等の繋がりを大切に活動していただけると、ますま
すいい方向に進んでいくと思います。

【佐藤（ま）委員】

公運審をさせていただくと、清和・小糸の詳しい事業がわかります。わかったうえで、自分が参加したいと思う事業がたくさんある。できるだけ参加したいのですが、人口密度が低い地区なのでたくさんの役が回ってくるため時間が取れず、興味のある事業に参加できません。それだけ、小糸・清和の事業が魅力的だということ、素晴らしいと思います。これからは「じぶん時間を楽しむ講座」に参加したいので、自分の役をひとつずつ減らして時間をつくっていきたいです。

今年、「20歳のつどい」が、周東中になって初めて合同開催になるということで、伊藤委員がおっしゃったように連携をとって、すばらしいものになるように期待しています。以上です。

【藤村委員】

最後に私から、どちらの公民館も地域のニーズに答えた事業を展開しており、反応もいいと思いました。事業によっては、地域を超えて市内、場合によっては4市とか声をかけてもいいのではないかと思います。たとえば、清和の3Dプリンター、小糸では陶芸の窯といったなかなか整備できない設備があります。ニーズがあれば人は集まります。市を超えてでもニーズがあればやれることがいいと思います。

今、各委員から意見がでました。事務局の方から何かありますか。

【清和公民館長】

先ほどのサイクリストの立寄り拠点について補足させていただきます。

これは、市の委託事業になりますが、鹿野山のサイクリングコースは県内では有名な上級者向けコースとなっていて、発着する際に休憩する場所が欲しいと要望があったそうです。サイクリストの人は色んな所に行きますので、別の場所で「おらがわ」の事も情報交換をしてくれています。また、今年に入ってから3回程イベントをやっています。主催がコカ・コーラの際は、イベント時にはドリンクの提供等の寄付をいただいております。イベント以外にも気軽に立ち寄っていただきたいと思っています。木更津市長もサイクリストとしてイベントに参加されたと聞いております。

【藤村委員長】

では、これで意見交換を終了します。

議題（2）は、地区別協議のため、清和公民館はこの会場で、小糸公民館は研修室に移動し、30分程度協議を行い16時40分から協議内容について再開します

（2）文化祭について

【藤村委員長】

それでは、各館から、地区別協議の内容について発表をお願いします。

【伊藤委員】

清和地区の文化祭については、まず開催行事に、清和こども園の子どもたちの関わりが入る予定です。また、特別企画は中学生の実行委員を募り企画する方向で進めていくことを確認いたしました。

【藤村委員】

小糸地区は、6/4（火）に第1回の文化祭準備会を行うため、その資料に沿って検討しました。今年度は、周知を広くするために、例年の日程より2週間スケジュールを早めます。特別企画については、2点意見が上がりました。1点は来年度終戦80年になることから小糸公民館の壁画を通じて、戦争のない社会に向けて企画するのはどうかということ。もう1点は、新成人を中心として若者に企画してもらうのはどうかと意見がでました。特別企画については準備会の際に検討していく予定です。

【藤村委員】

何か質問や補足はありませんか。ないようですので、以上で、本日の議題を終了します。ご協力ありがとうございました。

6. その他

次回連絡 9月4日（水）15時、会場は清和地域拠点複合施設を予定しています。

7. 閉会